

06

OCTOBER
2024

GRASS NEWSLETTER



I インド工科大学カラグプールからのお客様

インド工科大学カラグプール校農業・食品工学部長 Dillip Kumar Swain 教授が GRASS に来訪されました。Geetha Mohan 教授を研究代表者として令和 5 年度日本学術振興会二国交流事業「日本とインドとの気候変動対応型のレジリエントな農業技術の発展と共有」をインド工科大学カラグプール校で今年の 3 月に実施しましたが、この二国間事業においてインド側の代表者としてご尽力されたのが Swain 教授でした。今回は、GRASS Global Seminar での講演のほか、本学北島勲理事・副学長への表敬訪問、株式会社富山環境整備の視察、本学大学院生との交流など、盛りだくさんのスケジュールでした。

9 月 25 日に GRASS オフィスで開催した Global Research Seminar では、Climate change adaptations and organic farming for sustainable food production (持続可能な食糧生産のための気候変動適応策と有機農業)と題する講演をしていただきました。本学持続可能社会創成学環院生だけでなく、学生のみなさんも参加してくださり、用意していた座席が足りなくなるほどの盛況ぶりでした。経済学部生が緊張しながら英語で質問に挑戦している姿は、とても印象的でした。



写真) Swain 教授の講演の様子

株式会社富山環境整備の視察では、同社が取り組んでいる様々な SDGs に関する説明を受けるとともに、廃棄物処理によって生じる熱源を利用したトマト栽培工場などを見学されました。同社は、前述の日本学術振興会二国交流事業でインド工科大学カラグプール校においてプレゼンテーションを行った経緯もあり、同社谷口秀誉総務部長、松井菜摘氏と旧交を深める機会にもなりました。



写真) 株式会社富山環境整備視察の様子

本学北島勲理事との面談では、Swain 教授から持続可能な食糧生産のために行っているインド工科大学カラグプール校の取り組みなどの紹介があり、北島理事からは今後の学術交流の発展への期待についてお話しがありました。本学とインド工科大学カラグプール校との学術交流を更に進めていけるように、GRASS 一同取り組んでいきます。

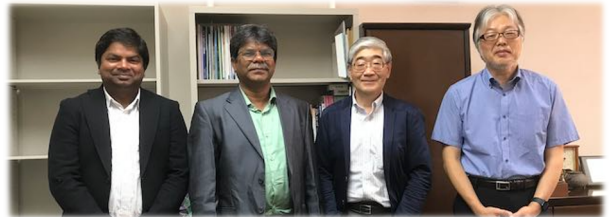


写真) 左から Geetha 教授、Swain 教授、北島理事、和田センター長

II 持続可能社会創成学環院生が G20 ブラジルサミットに伴う政策研究ネットワーク (T20) において政策提言を行いました！

持続可能社会創成学環グローバル SDGs プログラム院生 Muhammad Habibullah Galih Aji 君が TF01 "Fighting inequalities, poverty, and hunger"において、T20 Policy Brief "Advancing Climate-Resilient Oceans for Global Food Security"と題する政策提言を行いました。T20 は G20 参加国やゲスト国のシンクタンクや研究センターが関わる課題解決のための会議です。共著者には、本学 Geetha Mohan 教授と張勁教授も含まれています。



(要旨) 地球規模の気候変動により、陸と海の生態系に深刻化するリスクは、世界の食料安全保障に重大な脅威をもたらしている。地球表面の 70% を占める海洋環境の健全性は、何百万もの人々の幸福にとって極めて重要である。しかし、持続不可能な資源管理と汚染は、特に気候変動に直面して、海洋資源の最適な利用を妨げている。発展途上の沿岸地域社会は、気候変動

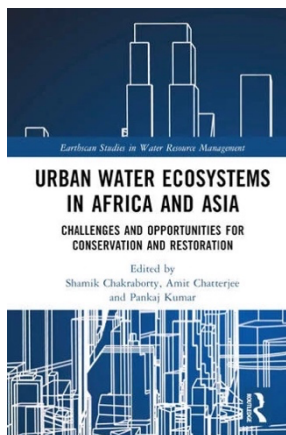
による食糧不安に特に脆弱であり、海洋生態系とその重要な貢献に対する脅威を高めている。この問題に対処するため、4 つの主要分野に焦点を当てた包括的な政策を提案する。第一に、伝統的な慣習や知識を活用し、コミュニティの積極的な参加により、海洋生態系の回復を促進し、生物多様性を保全し、持続可能な資源利用を確保するために、地元所有の海洋保護区を設置すべきであ

る。第二に、気候変動が食料安全保障に及ぼす世界的な影響に対処するため、G20 主導の国際協力を行い、インフラ、資金援助、資源格差に対処するための能力構築を含む支援スキームを提唱する必要がある。第三に、持続可能な漁業を優先させることが不可欠である。第四に、女性の戦略的地位への参画を促進すべきである。こうした包括的なアプローチを採用することで、私たちは、世界の食料安全保障に不可欠な海洋生態系の長期的な健全性と持続可能性の確保に向けて、一丸となって取り組むことができる。

リンクは以下のとおりです。

https://t20brasil.org/media/documentos/arquivos/TF01_ST02_Advancing_Climate-R66d762bf12854.pdf

III GRASS 近刊紹介



シャミク・チャクラボルティ准教授が筆頭編著者の新刊 *Urban Water Ecosystems in Africa and Asia: Challenges and Opportunities for Conservation and Restoration* が Routledge より 2024 年 12 月 13 日に発行されます。本書は、アジアとアフリカのケーススタディを通じて都市の水生態系管理と回復に関する研究書です。健康リスク、移民や強制移動、水質汚染、水不足、洪水管理、水インフラ、植林、気候変動の影響などトピックは様々で、都市の水管理から都市の水生態系管理への転換の必要を論じています。

IV 富山県立八尾高等学校 PTA のみなさまご来訪

10 月 15 日に富山県立八尾高等学校 PTA のみなさんが GRASS を訪問されました。我が国の大学が研究においても教育においてもグローバル化を求められるなか、非常勤研究員一人を含む 7 名の教員のうち、5 名が外国人教員である GRASS が、どのように設立され、どのような課題に挑戦しているのか、また、GRASS の教員が深く関わる本学持続可能社会創成学環グローバル SDGs プログラムの魅力について、和田センター長と堀江教授よりお話しさせていただきました。PTA のみなさんは、お子様が入学する大学学部に関心があり、研究機関や大学院のお話しでは期待外れにならないかと心配していましたが、来訪されたみなさんは、とても真剣に話を聞いて下さり、受け入れた私たちもほっとしました。日本の高等教育は大学進学率が 6 割近くにもなりましたが、修士号取得者が欧米諸国に比べ極端に少なく、高等教育が普及しているにもかかわらず、「低学歴国」と見なされる状況にあります。子どもたちが大学院進学を志

望するときには、そっと背中を押してあげてくださいますようにというメッセージをお伝えしました。



写真) 富山県立八尾高等学校 PTA のみなさまご来訪の様子

GRASS NEWS

【イベント・往来】

2024 年 7 月 26 日：GRASS Global Research Seminar にて Ishwar Singh Parhar 教授（Center Initiative for Training, University of Toyama）が Smart sustainable indoor aquaculture for food security をお題に報告を行いました。

2024 年 9 月 25 日：インド工科大学カラグプールの Dillip Lumar Swain 教授を招聘し、Global Research Seminar Series 2024 にて“Climate change adaptations and organic farming for sustainable food production”と題する報告を行いました。

【GRASS スタッフの活動】

楊潔：2024 年 8 月 3 日、JADE x J-TREE Joint Workshop（政策研究大学院大学）にて The Dark Side of Storm: Nightlight Data Analysis of Climate Impacts and Adaptation を報告しました。

堀江典生：2024 年 9 月 14 日、セルビアで開催された欧州比較経済学会に参加し、研究発表を行いました。

楊潔：2024 年 9 月 15 日、環境経済・政策学会（関西大学）にて Exploring the Long-term Nexus of Climate Change, Extreme Hydrological Events, and Migration Patterns を報告しました。

【New article】

Aji, M.H.G.T., Kurniati, A.B., Zhang, J., Mohan, G., Donnellon-May, G., Hitkari, C. (2024). Advancing Climate-Resilient Oceans for Global Food Security. Task Force 01: Fighting Inequalities, Poverty, and Hunger, *T20 Policy Brief*, G20 Brasil 2024, 1-145.

Geetha, M., Hoogenboom, G., Jintrawet, A., Buddhaboon, C., & Anothai, J. (2024). Capacity development training workshop on crop simulation modelling and effects of climate risks on agricultural production systems in Southeast Asia. *APN Science Bulletin*, 14(1), 110-119.

Biswal, P., Faisal, A., Tripathy, S., Swain, D. K., Jha, M. K., & Mohan, G. (2024). Influence of drip irrigation and straw mulching on economic feasibility and soil fertility of rice-potato system in subtropical India. *Irrigation Science*, 1-14.

Mohan, G., Perarapu, L. N., Chapagain, S. K., Reddy, A. A., Melts, I., Mishra, R., Avtar, R., & Fukushima, K. (2024). Assessing determinants, challenges and perceptions to adopting water-saving technologies among agricultural households in semi-arid states of India. *Current Research in Environmental Sustainability*, 7, 100255.



〒930-8555 富山県富山市五福3190
研究推進機構 サステナビリティ国際研究センター



<http://www3.u-toyama.ac.jp/grass>